

令和7年6月19日

株主各位

名古屋市中区錦三丁目6番15号先

名古屋テレビ塔株式会社

代表取締役 大澤和宏

第72期定時株主総会決議ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本日開催の当社第72期定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されましたのでお知らせ申し上げます。 敬具

記

報告事項 第72期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
事業報告の件
本件は、上記事業報告の内容について報告いたしました。

決議事項

第1号議案 第72期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
計算書類承認の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案 取締役11名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、取締役に大澤和宏、若山 宏、大村秀章、広沢一郎、杉浦正樹、勝野 哲、狩野隆也、鈴木孝昌、の8氏が再選され、新たに小貫 武、林 泰敬、加藤明子の3氏が選任されそれぞれ就任いたしました。

以上

なお、本総会終了後開催の取締役会におきまして、代表取締役、社長に大澤和宏、常務取締役
に若山 宏が再選され、それぞれ就任いたしました。

事業報告

令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は、数年間続いた新型コロナウイルスによる影響も治まり急速に国内観光をはじめ、インバウンドも回復基調となりました。

しかし、7月から8月にかけて30日間続いた猛暑日など年間を通して異常気象が多く発生、これにより集客に大きな影響を受けました。

この状況の中で、重要文化財の保存活動として文化庁の指導の元で「重要文化財保存・活用計画」策定を進めてまいりました。今年度は基本方針策定や施設・設備の劣化状況調査などを行い、来年度に最終とりまとめを行うこととしています。

令和6年度は、開業70周年を迎え、その記念事業として世界の映画界で唯一無二の存在となった「ゴジラ」との特別企画「中部電力 MIRAI TOWERにゴジラ襲来！」を6月から9月まで開催いたしました。

ゴジラは当タワーと同じ年に誕生、過去のゴジラ3作品に登場し、名誉にも倒されているといった親和性から実現しました。催事内容については、東宝株式会社の強力な支援があり、互いの70年間の軌跡パネル展示や、夜のプロジェクションマッピングでは歴代のゴジラからアカデミー賞受賞作品の「ゴジラー1.0」まで展望台からの夜景の中を歩く姿を演出するなどタワーならではの魅力を楽しんでいただきました。また、久屋大通公園の中心部にある水盤(ミズベヒロバ 横10m、縦80m)に、巨大オブジェ「ゴジラ」(高さ・幅約2.5m、奥行き約9m)を設置、直ちに久屋大通公園の新しい魅力スポットとなり、連日公園に賑わいを創出することができました。

また、名古屋市発行の広報なごや6月号に特集の掲載、書籍「名古屋テレビ塔クロニクルⅡ」の発刊、昨年度に引き続き名古屋市内の社会見学などの小中学生の招待を行いました。

展望事業の魅力向上のため、年間を通じて夜間イベント「プロジェクションマッピング」の開催、アニメ、ユーザーとのコラボ企画に積極的に参画し若い世代の来場が増加いたしました。このほか展望階段をより楽しんでのぼるコンテンツとしてスマホを使ったQRシステムを開発導入いたしました。

栄地域の歴史的な魅力発掘活動として、「名古屋に甦る後藤新平展」を3月に開催。その情報発信メディアの一つとしてインターネット放送局「なごチューブ」による「中部電力 MIRAI TOWER」のPRをはじめ栄地区の魅力発信に努めてまいりました。

また、SDGsへの取り組みとして「愛知Greenでんき」の契約を継続し、広告事業については、ネーミングライツ「中部電力 MIRAI TOWER」の定着を図る取り組みや塔体のライトアップ、「煌」を利用した広告宣伝活動を展開してまいりました。ライトアップでは主に社会啓発活動として「乳がん撲滅運動」など31件点灯いたしました。さらに、最近の関連法改正の動きにあわせ、財務のデータ化を進めるとともに就業規則の改定等人事システムの最新化を図りました。

この結果、当期における有料入場者数は177,651人、無料を含む総入場者数は429,268人となりました。当期における売上高合計は499,765千円(前年に比べ2.8%増)、販売費及び一般管理費合計は377,377千円(前年に比べ10.3%増)となり、営業利益122,388千円、当期純利益92,045千円となりました。

令和7年度は、名古屋市の戦後復興80年とともに当社リニューアルオープン5周年を迎えます。お客様に寄り添った魅力創出事業の開催とともに、「中部電力 MIRAI TOWER」がまさに中部地域にある観光施設や魅力スポットとも連携を密にして大都市名古屋・栄地区の活性化・賑わいづくりの起爆剤として活動できるよう役職員一同全力をあげる決意でございます。

株主の皆様には、今後もご指導・ご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

令和 7 年3月31日現在

名古屋テレビ塔株式会社

(単位・円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 501,361,777 】	【流動負債】	【 176,170,072 】
現金及び預金	489,134,663	一年以内返済長期借入金	127,500,000
売掛金	4,046,520	未払金	16,729,502
未収入金	6,213,561	未払費用	11,576,218
貯蔵品	341,300	未払法人税等	296,500
前払費用	1,394,116	未払消費税等	7,342,200
未収還付法人税等	85,951	前受金	11,991,042
立替金	145,666	預り金	734,610
【固定資産】	【 2,067,413,392 】	【固定負債】	【 2,082,163,380 】
(有形固定資産)	(2,048,365,022)	長期借入金	1,912,500,000
建物	1,432,659,857	長期未払金	11,300,000
建物附属設備	575,928,287	預り保証金	135,042,420
構築物	22,529,858	退職給付引当金	23,320,960
機械及び装置	1,293,803	負債合計	2,258,333,452
器具及び備品	15,953,217	純資産の部	
(無形固定資産)	(788,084)	【株主資本】	【 310,441,717 】
商標権	788,084	資本金	80,000,000
(投資その他の資産)	(18,260,286)	(資本剰余金)	(223,800,000)
投資有価証券	10,000,000	資本準備金	161,900,000
関係会社株式	750,000	その他資本剰余金	61,900,000
出資金	40,000	(利益剰余金)	(6,641,717)
長期前払費用	7,470,286	利益準備金	20,000,000
		その他利益剰余金	△ 13,358,283
		別途積立金	50,500,000
		繰越利益剰余金	△ 63,858,283
		純資産合計	310,441,717
資産合計	2,568,775,169	負債・純資産合計	2,568,775,169

損益計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

名古屋テレビ塔株式会社

(単位・円)

科 目	金 額	
【売上高】		
入 場 料 収 入	220,616,810	
賃 貸 料 収 入	160,265,335	
広 告 料 収 入	118,883,500	499,765,645
売 上 総 利 益		499,765,645
【販売費及び一般管理費】		377,377,390
営 業 利 益		122,388,255
【営業外収益】		
受 取 利 息 ・ 配 当 金	477,395	
そ の 他	4,310,194	4,787,589
【営業外費用】		
支 払 利 息	33,834,066	
支 払 手 数 料	1,000,000	34,834,066
経 常 利 益		92,341,778
税 引 前 当 期 純 利 益		92,341,778
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		296,500
当 期 純 利 益		92,045,278

株主資本等変動計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位・円)

	株 主 資 本									純資産合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金				株主資本合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金合 計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 155,903,561	△ 85,403,561	218,396,439	218,396,439
当期変動額										
当期純利益							92,045,278	92,045,278	92,045,278	92,045,278
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	92,045,278	92,045,278	92,045,278	92,045,278
当期末残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 63,858,283	6,641,717	310,441,717	310,441,717